

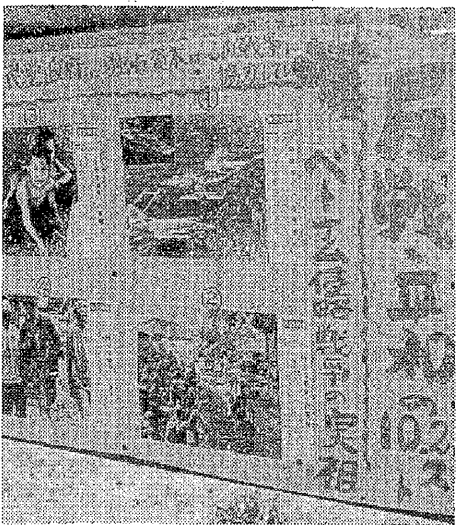
発行所
三池炭鉱労組
大牟田市不知火町2
電話 330333 番
330334 番
編集兼山下 閣
発行人
年間600円 送料共

10・21ストを

成功させよう

ゼッケン・デモや写真展 教組など半日スト決まる

一〇・二の秋反戦ストは秋一地区でも大きな盛り上げをみせている。四要求を含めて大牟田・荒尾。



各組合ごとにおこなう反戦・平和の写真展

教組は公務員共闘の要求にしたがって人事院勧告による給与改訂を勧告通り五月一日から実施させることを指示に半日スト(午後授業打ち切り)のスト権を確立している。

このほか大牟田地区では学力テスト阻止をきっかけに起った「教育正常化」に名をかりる反動化攻撃に反対するという重大なたたかいが含まれている。

労組運動の権利を守る
市販の斗争
市販労は自治労大会の決定に基づき出動時一時の制限ストを予定

腐敗、汚職相つぐ

末期現象の自民党

〇田中事件から共和製糖グループ不正事件と荒船汚職大臣事件、自民党関係の汚職、腐敗が相ついで明らかになり、革新陣営を中心にして、自民党批判の声が高まっている。

〇さる八月、詐欺、強盗(さようかつ)、偽証、脱税など八つの罪名で自民党の代議士田中彰治を逮捕した事件は、総選挙を控えて、人気が沸騰に近づいてきた。藤田相と自民党に打撃を与えた。田中代議士は九月三日付けで議員を辞職し、自民党を離党した。

田中はかねてから「自分が政界の裏面をバラせば、佐藤内閣はおろか、自民党が一挙に崩壊する」と警告していた。そのことを恐れた自民党首脳は野党の「微罰」を除名を要求して、辞職、という穏便な処置で田中を納得させたのだといわれる。

野党連合戦線も

〇去る一〇月二日、汚職大臣荒船清十郎が辞任したのをきっかけに、社会党、共産党、民社党、公明党の全野党が結集して佐藤内閣を倒すという野党連合戦線も



「もはや運命極まれり」
宮下 森・画

お願いに歩くだけで
一人二千元は勿体ない
宮浦 木村 留吉

政転斗争の結果
石炭政策に対する反対斗争は三池斗争後にもあったが、あのときはまだ三池労組も炭労も、組織が太かったし、金のあったので、はなはなしに中央動員などやって、大いに世論にもアピールした。ところが、政転斗争の結果は、あの有名なスクラップ・アンド・ビルドという合理化のやり方が、われわれに押しつけられてしまったのではないのか。

労働者の生活をよくするための政転斗争を一生懸命やっても、そのやり方が労資ベツクであつたり、ただ中央官庁へのお願い運動だけなら、一体結果はどうなるかというところは、この前イヤーというほど味合わされた。いくら労働者が頭を下げて、東京でデモしたりしてもそれだけではいまの政府・自民党のやり方を変えることなどできるものではない。二千円について行きたい

今度の石炭政策反対の斗争も、聞くかぎり第一回目の政転斗争を小規模にしたもののようにはかたがた思えない。二・三〇人をおのづから東京に動員してデモをまいたくらいでは、いまの石炭政策がどうして変わるのか。政府のおかげで、やっとなにが安定しようとしているのに、炭労は何しにきたのか? というのが関のヤマではない。中にある本音が言いたくない。遠慮なくお寄せ下さい。

以上
ご意見お寄せ下さい
組員・主婦会員のハラの
中にある本音が言いたくない。遠慮なくお寄せ下さい。
(編集部)

「全労協者の団結で10・21ストを成功させよう」と総評(四百二五万人)は一〇月五・六の両日、東京・九段の九段会館で第三回臨時大会を開いた。

大会では全力をあげて10・21ストを成功させ、秋斗を盛り上げることを決めた。

大会には五〇単産、約四百五〇人の代議員と特別代議員(県評代表)表、傍聴者多数が参加した。開会冒頭、堀井議長は「ベトナム反戦の統一ストは安保斗争につぐ大きな政治的意義をもつ。いまだだちに地域でこの意義と重要性を討議し、署名とカンパを拡大し国民的な反戦平和の戦線を構築する行動を起こすことが必要だ」とあいさつ。ついで社会党河野副

委員長、共産党米原幹部委員、中野功次郎議長代行などが10・21ストを激励、ともにたたかうと祝辞を述べた。またベトナム総工会、世界労連、中国総工会、イタリア労働同盟などからの激励と共闘の決意をこめた祝電が披露された。

岩井事務局長は「10・21ストを中心とする当面の斗争方針」の提案のなかで10・21ストを位置づけて④佐藤内閣の「反動と戦争の政治」への国民的攻撃の突破口とする⑤一九七〇年斗争に向けて橋頭堡(はつとうぼ)をつくる⑥佐藤内閣のベトナム戦争追加政策によって兵器、軍需品の生産、輸送を強制して決意を表明した。「アメリカストに失敗すれば政府・独占の力

を強め成功すれば佐藤内閣を倒すに迫る情勢を迎えることができた」(鹿兒島・平野)。「10・21ストは組合員としての合理的に反対するたたかいとも結合して理解すべきだ」(炭労・灰原)「昨年は総もたれのおかげでくすんでしまつたが、これは決意投票です」(日教組・横枝)、「昨年度の義務カンパ」は五〇円とし三〇円を年内に、残りの徴収は機関で改めて決める」と提案、運動方針案を含めて満場の拍手で採決された。

「もはや運命極まれり」
宮下 森・画

「もはや運命極まれり」
宮下 森・画

「もはや運命極まれり」
宮下 森・画